

ORACLE

Oracle for Finance 収益と成長を両立させるには

完全なクラウド・スイートによる収益とサステナビリティ



今日、財務担当者は、世界的なインフレに加え、度重なるレイオフ、不安定な政治・経済といった問題に直面しています。しかし、このような状況にもかかわらず、彼らは将来について当面楽観的な見方を強めています。この極めて重要な局面で、プロセスを効率化し、インサイトを獲得し、データに基づく意思決定を行うには、テクノロジーによるサポートが不可欠です。



成長と収益性のバランスを取ることの難しさ

財務担当者が財務報告やコンプライアンスのみを管理する時代は終わりました。今日、彼らは矛盾に満ちた経済の中でビジネスを導き、不確実性を乗り越えて利益を最適化し、将来の成長を確実にするための戦略的決定を下しています。

重要なデータの管理者として、財務はリソース配分と、成長を促進しながら収益性を高めるトレードオフを行う上で中心的な役割を果たします。「どれだけコストをかけても成長する」という姿勢がより微妙なアプローチへと移行する中、ステークホルダーは、長期的なリターンをもたらす戦略的投資の特定や、ESGパフォーマンスの管理、全体的なコスト削減に関するガイダンスを財務リーダーに求めています。不確実性の中で組織を繁栄に導く存在として、財務担当者は期待されています。

では、財務担当者は、収益に関する当面の課題と、持続可能な成長に必要な投資とのバランスを取るにはどうすればよいのでしょうか。



財務リーダーが今取り組むべき5つの課題

1 限られた資本を最大限に活用した投資

より少ない資本でより多くを実現することは、財務リーダーが得意とする分野です。リスク、市場環境、利害関係者の期待、予想される価値実現までの時間、短期および長期の目標を考慮しながら、少ない資本を最適な結果をもたらすプロジェクトやイニシアティブに配分することが財務に求められています。

2 より正確かつ頻繁な予測と計画

計画の遅延は、精度と実行可能性を低下させ、意思決定に支障をきたします。正確でタイムリーな財務計画を立てるためには、専門家は財務、市場動向、外部要因など多様なデータを分析する必要があります。

3 成長を妨げることなくリスクを軽減

財務の安定性を維持し、十分な情報に基づいた意思決定を行うには、財務部門が業務リスクと財務リスクを特定し、軽減する必要があります。その結果、綿密なデータ分析によってコンプライアンスを確保し、潜在的なリスク要因を最小限に抑え、組織の経済的健全性を守ることができます。

4 あらゆるリソースをより効果的に活用

テクノロジー投資から人材育成まで、財務担当者は資本、コスト、人材、市場環境に関する統合データに基づいて、可能な限り効果的かつ収益性の高いリソース配分を行わなければなりません。

5 組織全体の方向性を示す

成長と収益性の戦略を確立するためには、財務担当者は情報のサイロ化を解消し、部門横断的なコミュニケーションを標準的に実践し、意思決定に有用かつ確かな財務的インサイトを提示する必要があります。

収益、成長、影響力を高めるテクノロジー

テクノロジーとイノベーションは、財務部門が今日の課題に対応するための最も強力な武器となります。AIとMLが組み込まれたOracle Cloud Applicationsは、財務のリアルタイムな可視化を実現します。正確な予測とプロアクティブなリスク管理が可能になることで、財務部門は十分な情報に基づいて意思決定することができます。

Oracle Cloud Infrastructure (OCI) は、これらのテクノロジーを活用するためのスケラブルでセキュアな基盤を提供します。テクノロジーを活用することで、財務リーダーは財務管理の複雑さを乗り越え、組織を成功へと導くことができます。



成長と収益の拡大に向けたイノベーション・ロードマップの策定

企業をより大きな利益とサステナブルな成功へと導くカギは、財務担当が握っています。しかし、最近の [Deloitteの調査](#) では、多くのCFOが、「不十分なシステムやテクノロジーにより適切な意思決定が下せない」という大きな問題に直面していることが明らかになりました。

オラクルの [SaaS](#) アプリケーションの完全なクラウド・スイートは、重要なビジネス機能全体に一貫したプロセスと信頼できる唯一の情報源（SSOT）をもたらす強力なソリューションを提供します。オラクルは、エンタープライズ・リソース・プランニング（ERP）、サプライチェーン・マネジメント（SCM）、人材管理（HCM）、広告、カスタマー・エクスペリエンス（CX）などのアプリケーションを通して、カスタマー・エンゲージメントを強化し、ビジネスの俊敏性を高め、急速な変化に対応するためのツールを提供しています。

[Oracle Fusion Cloud ERP](#) は、AIを活用した自動化、リアルタイムのビジネス分析、自動更新により、財務をくまなく可視化し、競合他社に先んじるためのコンパスのような役割を果たします。[Oracle Financials](#) は、財務担当者が財務状況を完全に把握できるようにし、ビジネスチャンスやチャレンジに迅速に対応できるようにします。[Oracle Procurement](#) は、直感的なユーザー・エクスペリエンス、組み込み済みの分析、コラボレーション機能によって、サプライヤーの管理や選定を簡素化し、コンプライアンスに準拠した支払など、調達から支払いを簡素化し、統合します。

[Oracle Risk Management and Compliance](#) は、AIとMLを活用して財務統制を強化し、資金流出を防ぎ、監査の実施、新たなリスクへの対策を支援することで、手作業にかかる時間を低減します。

[Oracle Project Management](#) は、プロジェクトの計画と追跡、人材の割り当て、キャパシティと需要のバランス、ニーズの変化に応じたリソースの迅速な増減を支援します。財務担当者は、十分な情報に基づいてリソース配分に関する意思決定を下せるようになり、より戦略的な投資、より効果的なリソースの配備、より効率的な利益の創出が可能になります。

[Oracle Fusion Cloud EPM](#)は、財務、人事、サプライチェーン、営業にわたるモデリングとプランニングを可能にします。決算プロセスを効率化し、迅速かつ連結されたプランニングでより適切な意思決定を促進します。勘定照合とトランザクション照合を自動化しながら、コストと収益性についてのより深いインサイトを提供します。Oracle Cloud EPMを使用すると、複数のソースからESGデータを収集して標準化し、1か所で管理できます。ESGのベースラインを確立することで、財務部門は短期的、長期的なサステナビリティ目標をモデル化し、業務全体のイニシアチブを調整し、ESG、財務、業務の共通の理解に基づいて意思決定を行うことができます。

[Oracle Fusion Cloud HCM](#)は、リアルタイムの従業員データを活用し、従業員のパフォーマンス、スキル、人件費に関する貴重なインサイトを明らかにすることで、財務部門によるリソースの最適化を支援します。

AIとMLが全体に統合されたOracle Cloud HCMにより、財務チームは人材のギャップを特定し、トレーニングの必要性を見極め、生産性を最大化するためにリソースを戦略的に調整することができます。財務部門は、人事プロセスを効率化して管理負担を軽減することで、リソースを解放してより重要で付加価値の高い活動に振り向けることができます。また、成長の文化を育み、コラボレーションを強化できます。

[Oracle Fusion Cloud SCM](#)は、変化する需要、供給、市場の状況を把握し、迅速に対応することを可能にします。財務担当者は、さまざまなサプライチェーンの混乱や、ESGなど他の懸念事項による財務への影響を考慮したシナリオプランを構築できます。財務の専門家は、さまざまなサプライチェーンの混乱や、ESGなど他の懸念事項による財務への影響を考慮したシナリオプランを構築できます。

JVCKENWOOD

「『Oracle Cloud ERP』が稼働したことで、会計業務のプロセスの標準化と自動化を実現しました。また『Oracle Cloud EPM』は経営意思決定へのサポートに活用しています。」

園田 剛男 氏

株式会社JVCケンウッド 取締役 常務執行役員
最高技術責任者 最高情報セキュリティ責任者

[JVCケンウッド、統合会計システムを稼働し、真の企業統合の推進で変化対応力を強化](#)

[Oracle Fusion Analytics](#)は、Oracle Cloud Applications（ERP、HCM、SCM、CX）のデータおよびその他のデータ・ソースの分析を統合することで、組織全体の意思決定を強化します。統合されたAIとMLにより、財務部門は膨大な量のデータを継続的に解析・分析し、価値あるインサイトを引き出すことができます。また、予測分析により、将来の収益、費用、キャッシュフロー、その他の重要な財務的詳細を正確に予測することができます。これらのツールは、財務の目標を、組織の目標と整合させることで、戦略的かつデータに基づく意思決定を導き、成長を促進します。

[Oracle Cloud Infrastructure](#)は、これらの最先端機能に対応する完全なクラウド・インフラストラクチャとプラットフォームを提供し、データ・セキュリティ、コンプライアンス、システムとアプリケーション間のシームレスな統合を実現します。これにより、Oracle Cloud Applicationsの真のパワーを活用できます。



「コーポレート単位の会計情報だけではなく、事業、地域、チャネル、商品など細かな軸で経営管理に必要なデータを集約して可視化する環境が整いました。」

樋口 伸 氏

株式会社ポーラ・オルビスホールディングス 総合企画室
（ニュースリリース当時）

[ポーラ・オルビスが経営基盤となる財務・経理システムをOracle Cloud](#)

完全なエンタープライズ・クラウドを活用し、サステナブルな成長を実現

- ・財務データをリアルタイムに可視化することで、迅速かつ十分な情報に基づいたリソース配分が可能となり、利益を向上させ、成長を促進します。
- ・財務計画、業務計画、事業計画を一元的に把握することで、計画の精度が向上し、企業の機動性が高まります。
- ・人材データとAIを組み合わせることで、リソース配分の最適化、スキルの調整、生産性の最大化を実現し、リソースを付加価値の高い活動に振り向けることができます。
- ・リアルタイムのリスク監視により、財務担当者はプロアクティブにリスクを軽減し、コンプライアンスを確保し、組織の財務の健全性を守ることができます。
- ・Oracle Cloud Applicationのデータやその他のデータ・ソースから得られる価値あるインサイトによって、戦略的かつデータに基づく意思決定、業務効率の向上、迅速な予測が可能になり、成長を促進できます。
- ・最先端の機能、セキュアなデータ管理、シームレスな統合により、組織は成長と収益性に向けた共通のロードマップを作成できます。

CFOにとっての成功とは

- データ主導のインサイトを活用し、組織にとって最も価値のある投資に優先順位をつけて、効率的かつ効果的にリソースをプロジェクトに配分できる。
- 正確な計画・予測機能とリアルタイムの意思決定により、急速に変化する市場環境に対応できる。
- 高度な分析、AI、機械学習（ML）アルゴリズムにより、プロアクティブにリスクを特定、軽減し、事業継続性、一貫したコンプライアンス、セキュリティを確保できる。
- 資産、コスト、人材、市況に関する最新データにアクセスし、リソースを効率的に配分して無駄を最小限に抑えることができる。
- 統合されたプロセス、従業員のトレーニングと能力開発、部門横断的なコミュニケーション、事業全体に共有されるデータ主導のインサイトを通じて、グローバルな影響力を確保し、意思決定力を強化できる。

財務にOracleが選ばれる理由

Oracleは、ビジネス全体を対象としたOracle Cloud Applicationスイートをクラウド・ネイティブ設計で提供します。このスイートは、次世代のOracle Cloud Infrastructure上で実行され、プロセスの自動化、データの可視化、データ・セキュリティの強化をサポートします。

- 財務データをリアルタイムに可視化し、リソース配分に関する十分な情報に基づいた迅速な意思決定を可能にすることで利益を拡大し、成長を促進します。
- 人材データとAIを組み合わせ、リソース配分の最適化、スキルの調整、生産性の最大化を支援するとともに、リソースを付加価値の高い活動に振り向けます。
- クラウド上でレガシーワークロードをモダナイズし、自動化と機能強化によりプロセスを効率化し、ビジネス目標をサポートします。
- プライバシー保護、暗号化、サイバー脅威から防御するセキュリティ・サービスにより、データ・セキュリティの向上とリスクの軽減を支援します。

財務組織を前進させる次のステップ

度重なるレイオフ、政治的な不確実性、そして景気後退が世界中で警戒される中、企業としてはコスト削減と引き締めを強化したいのも無理はありません。こうした状況でも今すぐ行動を起こせる大胆な財務リーダーは、成長と収益性のバランスを取るという複雑な課題をうまく乗り切ることができます。

財務は重要なデータを管理し、リソース配分と意思決定において極めて重要な役割を果たしています。優れた成果を上げるためには、限られた資本の最適な活用、正確かつ迅速な予測、リスクの特定と軽減、効果的なリソース配分、組織全体の戦略的方向性の決定といった課題に取り組む必要があります。

予測不可能なビジネス環境においても、テクノロジーとイノベーションをチームや組織の強みとして活用し、競争を勝ち抜くことができれば、成功は約束されたも同然です。今がその時です。躊躇することなく財務管理の先駆者となりましょう。

[Oracle Cloudのデモを今すぐご予約ください。](#)

オラクルへのお問い合わせ

[Oracle.com/jpに移動する](#)

Copyright © 2023 Oracle, Java, MySQLおよびNetSuiteはオラクルおよびその関連会社の登録商標です。その他の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。このドキュメントは情報提供のみを目的としており、記載内容は予告なしに変更される場合があります。このドキュメントは、謝りがないことを保証するものではなく、口頭または法律で明示されているかどうかにかかわらず、商品性または特定の目的への適合性の黙示の保証および条件を含む、その他の保証または条件の対象ではありません。オラクルは、このドキュメントに関連するいかなる責任も明確に否認します。また、この文書によって直接的または間接的に契約上の義務が生じることは一切ありません。このドキュメントは、オラクルによる事前の書面による承諾を得ることなく、目的の如何を問わず、電子的手段または印刷によるものも含めていかなる形式や手段によっても複製または送信することが禁じられています。

